

自己評価報告書

平成23年4月22日現在

機関番号：34310
研究種目：若手研究（B）
研究期間：2008～2011
課題番号：20730242
研究課題名（和文） 医療機関経営における医療連携マネジメント
（コミュニケーションと電子カルテに着目）
研究課題名（英文） Management among Medical Facilities in Medical Institution
Management
研究代表者
富田健司（TOMITA KENJI）
同志社大学・商学部・准教授
研究者番号：40329149

研究分野：経営学

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：医療経営、医療連携、医療の質、職務満足

1. 研究計画の概要

これまで医療連携に関する研究の大半は医師や看護師によるものが多く、かつ質問票調査による定量的調査が中心である。つまり、経営学・マーケティングの視点からの研究は極めて少ない。そのため、経営学・マーケティングの視点から、そして定量的調査だけでなく、フィールドワークによる定性的調査も行う。具体的には下記となる。

（1）調査対象とする地域（大病院と近隣医療機関）を絞り、詳細な記述による定性的調査を行う。

（2）医療機同士でのコミュニケーションに着目し、経営学におけるネットワーク理論や戦略的提携の理論、さらには信頼構築理論を用いる。

（3）医療連携は政府の指導であり、各地域（医療機関）は医療連携を推進しているものの、模索中の地域（医療機関）が多い。そのため、本研究で何らかのインプリケーションを示すことは円滑な医療連携推進にとって意義があると思われる。医師など医療従事者の不足、医療費削減が叫ばれる中、具体策に乏しいが、その打開策にもつながる。

（4）医療連携は、患者の満足やQOL向上にもつながるため、患者視点からの考察も行う。本来、医療は患者本位でなければならぬため、患者視点からの考察はとても重要である。

2. 研究の進捗状況

（1）経営学・マーケティングの視点から医療連携の問題点を探ると、まず、医療連携が政府の主導で行われていることを指摘できる。

つまり、計画の主体者と実際の行動の主体者が一致していないことが大きな問題となっている。そのため、計画の主体者である厚生労働省と実際の行動の主体者となる地域の中核病院が、目的、現状、目指すべき方向などを共有させることが急務であると分かった。

（2）通常、企業経営を考える際には外部の競争相手（あるいはパートナー）との関係だけでなく、同時に顧客や企業内部にも目を向けなければならない。医療連携において、地域の中核病院は周辺の医療機関との関係にのみ注意がいき、肝心の患者のベネフィットへの意識が薄れていることが分かった。

（3）企業内部の資源蓄積にも目を向ける必要がある。医療機関は、職員（医療スタッフ）のサービスの質が問われるため、前提として彼らの満足度向上に努めなければならない。

（4）医療連携におけるコミュニケーションは、地域医療連携室など専門の事務職員同士によるやり取りが中心となっている。肝心の医師同士によるコミュニケーションは、簡単な手紙に留まることも多く、十分なコミュニケーションが取られているとは言い難い。しかし、病院同士による医療連携においては、互いの医師は学会等で顔見知りのことも多い。また、地域の中核病院と診療所との医療連携においては、中核病院による勉強会でコミュニケーションを取っていることもある。とはいうものの、当該患者の治療に関して言えば十分なコミュニケーションということは難しい。そこで、さまざまな課題を導出し、それらを解消するための方策について、インタビュー調査などを通じて考察した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

ほぼ計画通りのスケジュールであるが、2010年度に行った質問票調査であまり良い結果が出てこなかった。そのため、最終年度となる2011年度は、追加調査を行いつつも、結果がうまく出なかった理由について議論を展開して本研究のまとめをおこなっていききたい。

4. 今後の研究の推進方策

上記に示したように、追加調査と、研究がうまくいかなかった要因についての議論を展開していききたい。

それらの結果の報告は、学会論文への投稿、学会報告を行いつつ、著書として体系的なものへとまとめていききたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

- ① 富田健司「医療の質を高めるインターナル・マーケティング」『同志社商学』第62巻 1/2号、同志社大学商学会、pp111-112、2010年 (査読無)
- ② 富田健司「医療の質を高めるインターナル・マーケティング」『同志社商学』同志社大学商学会、同志社大学商学部創立六十周年記念論文集、pp. 292-307、2010年、(査読無)
- ③ 富田健司「医療機関に対する経営・マーケティング視点からの考察」『季刊マーケティング・ジャーナル』(社)日本マーケティング協会、第108号、pp. 47-60、2008年、(査読無)
- ④ 富田健司「チーム医療のマネジメントー静岡県立静岡がんセンターの多職種チーム医療を事例としてー」『医療と社会』(財)医療科学研究所、第18巻第3号、pp. 327-341、2008年、(査読無)

[学会発表] (計2件)

- ① 富田健司「医療の質を高めるインターナル・マーケティング」日本商業学会関東部会12月例会、青山学院大学、2008年12月20日
- ② 富田健司「戦略的提携における異質性と同質性のマネジメント」商品開発・管理学会 第10回全国大会、立正大学、2008年6月15日

[図書] (計1件)

- ① 富田健司『組織管理／組織改革』日本医療企画、本文全102頁、2010年